

オリエンテーション合宿で 学んだこと&思い出



1組

小学校の卒業式で「成長とは、我慢できること」と言われました。ウォークラリーでは、山道を何回かリタイアしようかと考えたりしましたが、チームのみんなが「頑張る。」「大丈夫？」と声をかけてくれたので、つらくても我慢して最後まで歩くことができました。友達が応援してくれたのでとても嬉しかったです。

部屋に時計がなく、先生たちが教えてくれるわけでもなかったのですが、自分がしおりをしっかりと読んで次の準備をすることを学びました。それでもわからないときは、友達に教えてもらって助かりました。中学校生活でも時間を意識したり、次の予定を知っておいたりすることはとても大切なことだと思います。

2組

わからないことや困っていることがあった時、友達が優しく教えてくれました。自分もみんなで協力することや余裕をもって行動することを意識して頑張りました。このように、クラスや学年全体で活動するとき、オリエンテーション合宿で学んだことを意識して生活し、より良い学校生活を送れるようにしようと思いました。

ベッドメイキングでは、自分がよく分からずに困っていた時、みんなが優しく教えてくれました。また、ウォークラリーではゴールを目指して仲間と協力することができました。大人になっても助けたり助けられたりするところがあるので、成長していきたいです。

3組

私がオリエンテーション合宿で学んだことは、『人のことを考えて行動する』ということと『自分のことは自分で決める』ということです。いつでも他の人のことを考えてマナーを守って行動するということが、大切だと思いました。ウォークラリーでは、人任せにするのではなく、自分の意見をもって協力することを学びました。これらのことは、どの場面でも必要なことなので、伸ばしていきたいです。

オリエンテーション合宿では、時間を見て行動し、声をかけたり、初対面の人とも仲良くすることができたりしました。この経験を活かして友達との交流を通して絆をつくり、共に成長していきたいです。また、学年全員が心一つにして協力できる場面を増やしていけるようにしていきたいです。

5組

砂の造形するとき、何をしたらよいか分からなかったけど、友達が教えてくれました。また、自分がしゃべりながら移動していたとき、静かにするように声をかけてくれました。このことから、メリハリをつけた生活をし、仲間と協力して目標を達成できるようにしていきたいです。

ウォークラリーでは、地図が読める人がどちらに行くか教えてくれたり、砂の造形では、大変な水くみを進んで行ってくれたりして、みんなで協力することの大切さを学びました。日常生活や次の行事などで5組のチームワークや仲の良さを見せていきたいです。また、役割分担をして、誰が何をするかを決めた方がよいことがわかったので役割を決めてやりたいです。



4組

オリエンテーション合宿で学んだことは二つあります。一つめは、一人で全部やる、ではなくて、みんなで協力し、支えあうことが大切だということです。二つめは、整理整頓、余裕をもって行動、トライするという三つの柱です。中学校生活の中でとても大切なことだと気づいたので、毎日常に意識して行動していきたいです。

オリエンテーション合宿では、時間を意識して5分前集合するなど、余裕をもって行動することができました。また、部屋の荷物やベッドの整理整頓を心がけました。これからの中学校生活でも、この二つのことが当たり前になるようにしていきたいです。

6組

仲間と協力することの大切さと、友達が常に助けてくれていたことに気づくことができました。

一人では乗り越えることのできない壁は、みんなで努力し、協力することで乗り越えられることを学びました。オリエンテーション合宿で学んだことや経験したことを、これからの中学校生活に生かしていきたいです。

私は、常に早めの行動をとることを学校生活で活かしていきたいです。授業に遅れる、ぎりぎりに着くということがないようにしたいです。グループや班になった時に一人にすべてを任せるのではなく、分担したり協力したりして、みんなが楽しく取り組めるようにしたいです。